

存在価値を見つめ直し、 着実に一歩を

代表取締役社長 今村 善信氏



大電産業

福井市春山1-6-15

「社内の基盤づくりに注力した一年だった。新型コロナウイルスの影響により、恒例の展示会を中止した一方で、自社のホームページの刷新に着手。工場やヒルの電気設備リニューアルの要点をまとめたり、ロボットやIoT（モノのインターネット）を導入した生産現場の自動化の実例をCGで紹介したりするなど、お客さまと共に提案営業を展開できる内容に改めた。

また、コロナ禍においても、業務改善と働き方改革は継続。会社・部門・個人のレベルでPDCAサイクルを回すことで仕事との向き合い方を新たにしながら、雇用形態の多様化や女性の職域拡大など、ダイバーシティの分野においても次の一歩を踏み出した。

今年、創業75年の節目を迎える。緊急事態宣言以降、出張などの活動が制限される中で「何のために、誰のために会社があるのか」という根本的な価値を見つめ直した。「お客さまをサポートするため、社会に貢献するため、そして社員がしあわせに働き続けるため。創業時に曾祖父が掲げた社是を礎に、これらの三つを行動指針として明文化することで、百年企業への道筋を示したい」と力を込める。

今後については「先が読めない中、今しかできないこと、将来に向けて今すべきことを着実にやっていく」と語気を強める。「IoTやDX（デジタルトランスフォーメーション）を念頭に、電気・制御に通信を絡めた新しい提案も推進し、エッセンスシャルワーカーであるお客さまをサポートさせていただくことを通して、社会に貢献し続けていきたい」と前を見据える。